＊プレイ進行
スタートプレイヤーを決め、交互に以下のⅠかⅡのアクションのどちらかを行う。

＊アクション詳細

アクション	内容
Ⅰ カードを取る	以下のA～Cの内、1つを行う。 A：場のカードと手札を交換する 場のほしい商品カードを最低2枚以上、何枚でも取る。(ラクダは取ってはいけない) その後で取った枚数と同数のカードを手札から場に戻す。 この時、取った種類と同じ種類を戻してはいけない。 戻すカードに自分のラクダを組み合わせて使ってもよい。 B：場のカードを1枚だけ取る 場のほしいカードを1枚だけ取り、手札に加える。 その後、山札から1枚引き、場に補充する。 C：場のラクダを全て取る 場にあるラクダカードを全て取り、自分のラクダ置き場に加える。 その後、場のカードが5枚になるように山札から補充する。 ＊注意 ・各プレイヤーは、手札は7枚までしか持ってはいけない。 ラクダカードは、手札の枚数に数えない。 ・場のカードは、常に5枚あるようにする。
Ⅱ カードを売る	・手札から1種類の商品を好きな枚数、表向きに捨て札置き場に置く。 布、香辛料、革は最低1枚、ダイヤモンド、金、銀は最低2枚で出さなければいけない。 ・出した種類と同じ商品トークンを、出した枚数と同数、上から取る。 上にあるトークンの方が価値が高い。 ・3枚以上出した場合は、商品トークンとは別に、枚数に応じたボーナストークンを上から取る。価値は取るまで分からない。 ・取ったトークンは、裏向きに自分の前に重ねて置いておく。

＊ラウンド終了条件
どちらかが達成されたらラウンドは即終了し得点計算を行う。
・3種類の商品トークンが無くなった時。
・山札から場に5枚のカードが補充出来なくなった時。

＊得点計算
以下の得点を全て足し、得点の多かった方がエクセレンスの称号を1枚受け取る。
・各プレイヤーの場にあるラクダを数え、多いプレイヤーはラクダトークンを得る。
ラクダが同数の場合は、ラクダトークンはどちらも得られない。
・自分のトークンの合計を計算する。

＊勝敗
どちらかがエクセレンスの称号を2枚獲得するまで行い、2枚獲得したプレイヤーが勝者となる。

＊カード、トークン内訳
・好きな枚数で売れる

革		香辛料		布	
	枚数：8枚 トークン内訳 4ルピー×1枚 3ルピー×1枚 2ルピー×1枚 1ルピー×6枚		枚数：8枚 トークン内訳 5ルピー×1枚 3ルピー×2枚 2ルピー×2枚 1ルピー×2枚		枚数：8枚 トークン内訳 5ルピー×1枚 3ルピー×2枚 2ルピー×2枚 1ルピー×2枚

・2枚以上で売れる物

銀		金		ダイヤモンド	
	枚数：6枚 トークン内訳 5ルピー×5枚		枚数：6枚 トークン内訳 6ルピー×2枚 5ルピー×3枚		枚数：6枚 トークン内訳 7ルピー×2枚 5ルピー×3枚

ラクダ	
	枚数：11枚 トークン内訳 5ルピー×1枚 (ゲーム終了時のボーナスとして獲得)

・ボーナストークン

トークン内訳		
3枚売却×7枚 3ルピー×2枚 2ルピー×3枚 1ルピー×2枚	4枚売却×6枚 6ルピー×2枚 5ルピー×2枚 4ルピー×2枚	5枚売却×5枚 10ルピー×2枚 9ルピー×1枚 8ルピー×2枚